



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1660号

会 長	横澤 創	会長エレクト	岸 幸博	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	松崎正実	幹 事	入江公敏		大和中央ビル 301
会報委員会	小柳智裕	阿萬正巳	後藤定毅		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	古郡 清	石川達男			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

Peace Through Service

「奉仕を通じて平和を」 RI会長 田中作次

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

週一度 みんなに会える 楽しみ

【本日のプログラム】 2月24日(日) 第6グループM「クラブ活性化アクションプラン」

【次回予告】 2月28日 夜間移動例会「クラブを元気に」北京飯店 18時～

【第1655例会】平成25年2月14日(木) 【司会SAA】 鈴木 洋子 君 【斉唱】 「我らの生業」

【ソングリーダー】 長谷川 清 君

会長の時間 横澤 創 会長

松崎正実会員のご母様様がご逝去されました。
ご冥福をお祈り致します。

2013～14年度地区役員・委員会委員(正副委員長含む)就任の委嘱状が参りました。

補助金配分 委員長 藤塚 勝明 君

社会奉仕 副委員長 館盛 道明 君

公共イメージ 委員 辻 彰彦 君

ローターアクト 委員 横澤 創 君

ご苦勞をおかけしますが、ご協力を宜しく願います。

優等生の建機メーカー「コマツ」

が一転、営業益10%減の通期見

通しを発表しました。主な原因はイ

ンドネシアの鉱山機械の受注の急減速だそうです。インドネシアは燃料用石炭の主要産地ですが、米国で安価な新型天然ガス「シェールガス」が普及した結果、石炭価格が急落し、インドネシアの鉱山会社が機械の購入延期や、受注キャンセルに動い



た結果だそうです。

「シェールガス」という言葉を良く耳にするようになったのは、つい一年程前ではないでしょうか。採掘の技術革新により、大幅なコストダウンが可能となり、エネルギー調達の戦略が大きく変わろうとしています。驚くのはこのスピード感です。まさか「コマツ」もシェールガス革命がこれほど早く自社の経営戦略に影響するとは予想できなかったのでありましよう。

大航海時代、風を頼りに世界の海を疾走していた帆船は、蒸気機関の発明によりその運命に終わりを告げました。技術革新は人間の営みに大きな影響をもたらすものであります。

今、ITは汎用品として私たちの生活と切っては切れない存在になりました。そして、その進化はとどまるところを知りません。21世紀は、ITによる技術革新の世紀と言っても過言ではないでしょう。

ロータリーも、IT化により大変便利になり、情報も素早く入手できるようになりました。しかし、注意し

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 6名(敬称略)
42名	35名	85.37%	80.49%	6名	原嶋、神作、小柳、野口、竹内、梅野

なければならぬのは、個人情報保護の徹底であります。実は、会長年度になってから、英文のメールが一日数通り入ります。メールアドレスが漏洩しているのでしょう。すぐ消去して今のところ実害はありませんが、気持ちの良いものではありません。仮にそのメールが悪意に満ちたものであり、クリックすることによって法外な請求書が送られて来たり、あるいは先日の「猫に首輪」事件の誤認逮捕のように、なり済ましにより犯罪に巻き込まれるような事がないとも言えません。

ロータリーは「善意」と「良識」が大前提であります。国際ロータリーはロータリアンの信頼を維持するために公正で厳重な情報管理を行うという原則を徹底してもらいたいものです。

本日は、時代の先端を行く辻彰彦君の卓話です。私たちの生活が、ITによって、これからどんな変化が起こっていくのか大変興味のあるところで、楽しみにしていました。宜しくお願いします。

幹事報告 入江 公敏 幹事

今月の例会は、来週14日通常例会ですが、21日は24(日)IMに振替休会となり、28日(木)は北京飯店にて夜間例会です。
24日のIMはオークラフロンテアホテル海老名にて開催されます。、13:00登録開始13:30開会です。

委員会報告

お祝いの方々

親睦活動委員会 長谷川 清 委員

会員誕生日	入江 公敏 君	2月14日
	青柳 文四郎 君	2月15日
配偶者誕生日	古木 磯子 夫人	2月17日
結婚記念日	石川 健次 君	2月20日
創業記念日	上田 利久 君	2月25日
入会記念日	古郡 清 君	2月28日



会員卓話

「ソフト開発って？」

辻 彰彦 会員



本日の卓話は下記よりダウンロードできます。
<http://sdrv.ms/15becZz>

コンピューターの歴史

- 第一世代 (1945)** ... コンピュータは、戦争をするために作られました。つまりミサイルの弾道の計算をする目的で作られました。当時のコンピュータは、とても巨大で消費電力が大きく、計算速度があげられます。そのうえ信頼性もあまり高くありませんでした。
- 第二世代 (1965)** ... この頃のコンピュータの特徴としては、真空管の代わりトランジスタが使われるようになり、真空管に比べて扱いやすく、小型化・省電力化が進み、信頼性も向上しました。
- 第三世代 (1975)** ... IC(集積回路)により、さらに小型化・信頼性の向上・計算の高速化しました。このため、「マイクロプロセッサ」という言葉が生まれました。マイクロプロセッサとは、機械と電気をつなぐことでできた新しい機械装置をマイクロプロセッサといいます。これまでのコンピュータは基本的に人間が機械を動かしていましたが、第三世代からは電子が機械を動かすようになりました。
- 第四世代 (1985)** ... この頃の特徴としては、LSI(大規模集積回路)の登場があげられます。LSIはICの集積率が高くなったものです。また、ワープロや自動車、エアコン、放送機、ビデオカメラなど、身近なありとあらゆる家電製品に、LSIが組み込まれるようになりました。
- システムステーション設立(1989)**
- 第五世代 (1995)** ... 現代は、マルチメディアの時代です。電子によって文字、音、映像を統合的に扱うことができます。ある情報を文字、音声、得録、写真、映像、ビデオなどのメディアを複数用いて構成するメディアをマルチメディアといいます。

Yamato-Naka Tsuji 2

4. ソーシャルメディアとの連携について

Facebookページ(旧ファンページ)でファンを集め、サイトやブログの更新情報を流すことでサイトやブログに誘導する

つづきで顧客との距離を縮め、サイトやブログの更新情報を流すことでサイトやブログに誘導する

アプリの提供によるスマートフォンユーザー層の顧客獲得

Webサイト

Ameba プログによる定期的かつ継続的な情報発信

YouTube USTREAM 動画コンテンツの提供 サイトやFacebookページに埋め込みも可能

Yamato-Naka Tsuji 6

5. Facebookについて



6. LINEについて



7. ソーシャルメディアとの連携 モデル事例① - 日産自動車様



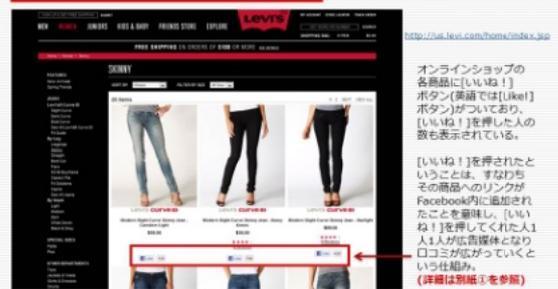
7-2. ソーシャルメディアとの連携 モデル事例① - 日産自動車様



8. ソーシャルメディアとの連携 モデル事例② - ポルシェ様



モデル事例③ - アメリカ・Levi's Official Store様



スマイルボックス 番 桂柳 副委員長

本日 ¥19,000 累計 ¥580,670

横澤 創 会長・入江 公敏 幹事

今年の冬は特に寒さが厳しく例会を欠席される会員もいらっしゃいます。お互い体調管理には気を付けましょう。さて、本日の会員卓話は辻彰彦会員です。どうぞ宜しくお願い致します。

松崎 正実 君

母の葬儀に際し、供花、御芳志を賜り、ありがとうございました。

辻 彰彦 君

先日、ドクター引田に私の知人を診て頂きました。本当にありがとうございました。

北砂 明彦 君

本日の3分間スピーチは富澤 克司さんということで、楽しみにしています。又、卓話では私の苦手なITについて辻さん解り易く、宜しくお願い致します。

中西 功 君

誕生日祝って頂きありがとうございます。1年が増々早くなってきた様な気がします。

青柳 文四郎 君

誕生日のお祝いをして頂きありがとうございます。

入江 公敏 君

本日、バレンタインデーに生まれました。お祝いありがとうございます。

石川 健次 君

結婚記念日のお祝いありがとうございます。きれいさっぱり忘れていました。で内密にしてお願いします。

上田 利久 君

創業記念日のお祝いを頂きありがとうございます。育児相談のみ週1回行っています。

ロータリーの親睦について

一月に大和RCを親とする四つのロータリークラブ合同例会が行われましたが、「ロータリーは親睦に始まり親睦に終わる」と言われますので、「ロータリーの親睦」について考えてみたいと思います。

ロータリーの目的や方針を、簡単に要約し解説したものとして、「ロータリーの綱領」があることは、みなさんご存知のはずです。このロータリーの綱領は、ロータリーが始まって現在までのロータリー活動の試行錯誤の中から、いろいろな段階を経て、今日に至っています。

その綱領の第一に、「奉仕の機会として知り合いを広めること」とありますが、これは、「心の友を得て、奉仕への契機となすべきこと」という意味で、これがまさしく、ロータリーが親睦から始まったということを示しています。

もちろん親睦といいますが、いろんな集まりにはそれぞれみんな、いろんな親睦がありますが、ロータリーの親睦とは根本的に違っているとされています。なぜなら、通常の親睦は自分たちだけが仲良くして、仲良くすることの利益が当事者だけのことで、全然社会、あるいは外部へ還元されていないのではないかとロータリーでは考えます。いわば普通の親睦が、閉ざされた親睦であるというのにたいして、ロータリーの親睦は、開かれた親睦であると言われています。

私たちが、週に一度ロータリーの例会に出るときは、性別、年齢、財産、地位等々、世の中のいろいろなしがらみを断ち切って、本当の友情、親睦の中に自分を置き、友達づきあい、親戚づきあいをする。そうするとみんなと心が通じあって、自分の足りないところを他の代表的な職業人の良質な思考によって教えられ、お互いが役にたちあい、助けあい、例会を立ち去ることができる。したがって、一例会一親睦活動が行われる毎に、それぞれのロータリアンの自己研鑽がなされて、心の向上が得られる。そして心の向上が得られると、結果としてその反射的な効用が社会や外部に及ぶことになる。

「心の高まり」を感じるような親睦がロータリーの親睦であり、決して何か面白おかしくするということが、ロータリーでいう親睦ではないようです。「例会でひとりひとりの心が高まるようになる」から、その効果が社会を潤す。これがロータリーが考えている親睦であり、開かれた親睦であるという所以です。

1913年、後にRI会長になったアーレン・アルバートは次のように述べています。「実力を涵養し、且つ人格を形成する。これすなわちロータリーの本当の目的である。ロータリーの本当の意味もまたここに存する」と。童心残照のある我がクラブです。「週一度 みんなに会える 楽しみ」を、ロータリーの深みを充実した例会でみんなで味わいましょう！